

2024年度 大阪公立大学

小論文問題

(工学部 都市学科)

解答時間 120分

注意事項

1. 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
2. 問題冊子は全部で7ページである。脱落のあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙（4枚）及び下書き用紙（4枚）は別に配付する。脱落のある場合には申し出ること。
4. 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 解答に字数の制限があるときは、句読点や記号も含めて数えること。
7. 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とするときがある。
8. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
9. 解答終了後、配付された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

(空 白)

(空 白)

第1問

次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

[Redacted text block containing multiple lines of blacked-out content]

第2問

次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

[Redacted text block containing multiple paragraphs of blacked-out content]

[Redacted text block]

[宇沢弘文・堀内行蔵 編著：最適都市を考える，pp.40-42，東京大学出版会，1992，より抜粋・一部改変]

問1 文中の下線部(1)において、著者は、「ある種の都市計画が入り込む余地が出てくるわけである」と書き、その後、アレグザンダーの都市計画理論を紹介している。「場所の感覚」と比較して、アレグザンダーの理論はどのような点で異なるのかを、300字程度で要約せよ。

問2 将来も持続的で魅力的に住み続けられる都市を維持・更新・構築するために、都市工学に携わる者として重要だと考える取り組み方や役割について、あなたの考えを200字程度で述べよ。